

広報たかはし 別冊

平成23年度

予算の概要

～「ひと・まち・自然にやさしい高梁」～

市民生活のため

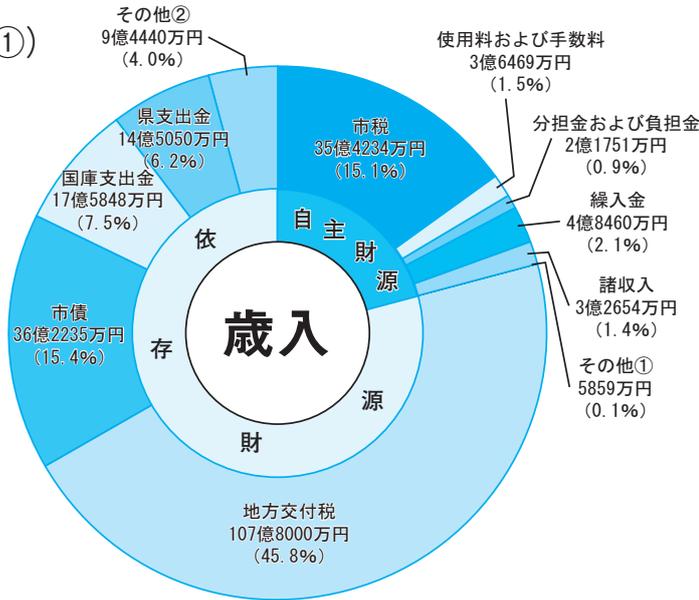
市が取り組むこと



一般会計

235億5,000万円 (前年度比7.6%増)

(グラフ①)



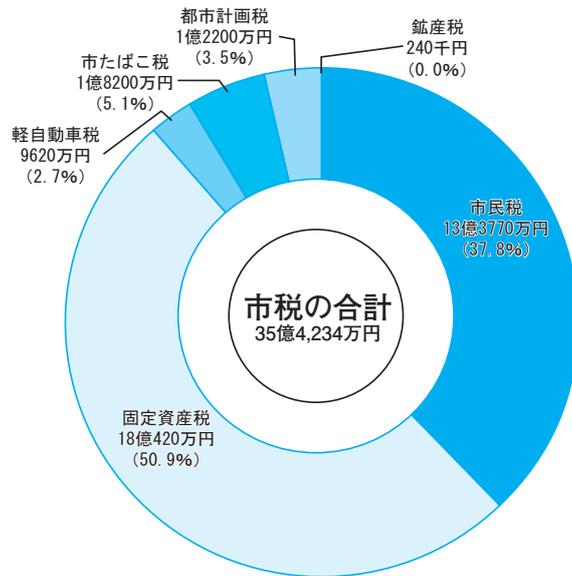
その他①

繰越金	0.1万円	0.0%
寄附金	20万円	0.0%
財産収入	5,655万円	0.1%

その他②

地方譲与税	3億9,970万円	1.7%
地方消費税交付金	3億5,800万円	1.5%
利子割交付金	1,150万円	0.0%
自動車取得税交付金	6,980万円	0.3%
地方特例交付金	7,400万円	0.3%
ゴルフ場利用税交付金	1,650万円	0.1%
交通安全対策特別交付金	700万円	0.0%
配当割・株式等譲渡所得割交付金	790万円	0.0%

(グラフ②)



「ひと・まち・自然にやさしい高梁」の実現に向けて

〜今まで土を耕し、種をまき、芽吹いてきた事業をさらに成長させるための予算〜

総額 393億8460万円

市の収入で一番金額が多いのは、国から交付される地方交付税の107億8000万円、次いで市債(借金)の36億2235万円、市税の35億4234万円となっています。

収入構造のうち一般的に自主財源の割合が高い方が、自主性のある財政運営を行うことができますと言われています。本市の収入総額235億5000万円のうち自主財源は49億9426万円で21.2%、依存財源が185億5574万円で78.8%となっており、国からの交付金や市債に頼った収入構造となっています(グラフ①)。

本市の市税は、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、鉦産税、都市計画税などがあります。

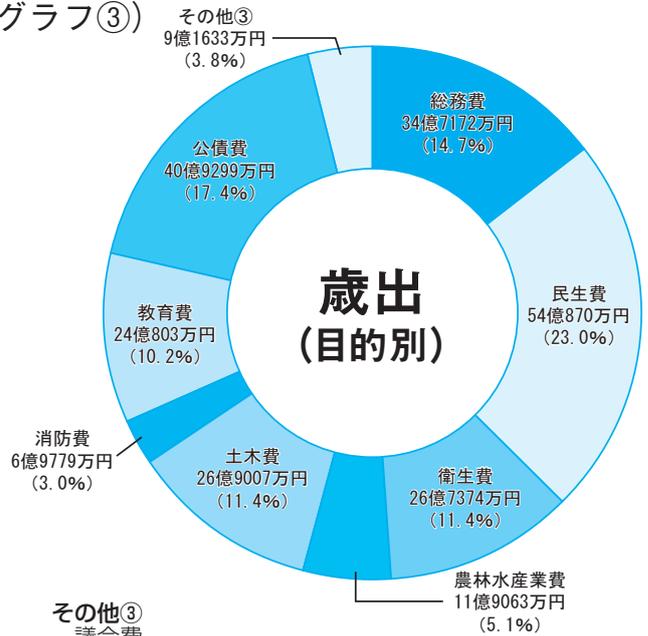
市税の内訳としては、固定資産税が18億420万円で市税全体の50.9%で、次いで市民税が

特別会計

158億3,460万円 (前年度比14.1%増)

会計	予算額	増減
国民健康保険(事業)	41億9,609万円	3.4%
国民健康保険(直診)	5,440万円	△ 16.2%
国民健康保険成羽病院事業	35億6,213万円	110.2%
へき地診療所	919万円	19.6%
後期高齢者医療	4億8,209万円	△ 4.6%
介護保険(事業)	40億6,103万円	3.7%
介護保険(サービス)	9,448万円	△ 13.6%
養護老人ホーム	2億3,617万円	1.4%
特別養護老人ホーム	2億3,834万円	△ 0.3%
軽費老人ホーム	3,454万円	△ 1.4%
住宅新築資金等貸付事業	501万円	△ 28.5%
畑地かんがい事業	1,839万円	△ 1.2%
水道事業	5億3,735万円	40.3%
簡易水道事業	9億1,747万円	△ 15.9%
下水道事業	13億6,515万円	△ 5.7%
地域開発事業	966万円	△ 75.1%
巨瀬財産区	1,053万円	287.8%
宇治財産区	199万円	65.1%
有漢財産区	59万円	5.1%

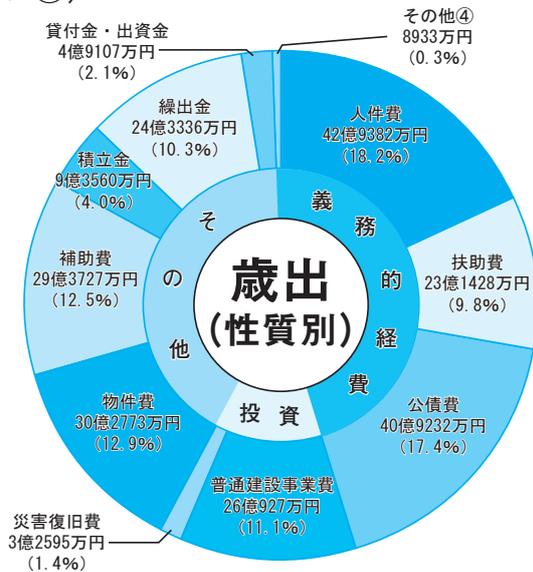
(グラフ③)



- その他③
- 議会費 2億6,293万円 (1.1%)
 - 労働費 7,302万円 (0.3%)
 - 商工費 2億4,593万円 (1.0%)
 - 災害復旧費 3億2,445万円 (1.4%)
 - 予備費 1,000万円 (0.0%)

- その他④
- 維持補修費 7,933万円 (0.3%)
 - 予備費 1,000万円 (0.0%)

(グラフ④)



※一般会計：市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路や農業施設の整備など、さまざまな分野の事業を行うための会計で、多くの事業はこの一般会計で行っています。

※特別会計：国民健康保険や下水道の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区別するために設けられている会計です(国民健康保険成羽病院事業会計と水道事業特別会計は地方公営企業法の適用を受けています)。

目的別にみると、民生費が一番多く、次に公債費(借金返済)、総務費、土木費、衛生費の順となっています。

グラフ④は、歳出を人件費、公債費(借金返済)、普通建設事業費のように性質的に区分したものです。

性質別にみると、人件費が42億9382万円と一番多く、次いで公債費の40億9232万円、物件費(需用費・委託料等)の30億2773万円の順となっています。

13億3770万円、市たばこ税が1億8200万円となっています(グラフ②)。

グラフ③は、歳出を土木費(道路工事)、消防費(消防関係)など用途の目的別に区分したものです。

重点特別事業

1. 子育て・定住施策（三世代施策含む）

安心して子どもを産み育てることができるよう、三世代同居の促進も含め、子育て支援策の充実に努めるとともに、未来を担う子どもたちに夢・希望を与え、力を育む施策に取り組みます。また、主に若年層を中心に定住促進施策を展開します。

▽不妊症対策支援事業 拡充

100万円

（市民生活部子ども課）

不妊症のため、子どもが欲しくても持つことができない夫婦に対し、医療保険対象外の不妊治療を受けた場合の治療費を助成します。また、第1子を問わず、回数限度も設けず、より多くの出生を支援します。

▽セカンドブック事業 新規

37万円

（教育委員会学校教育課）

小学校入学を期に、本に親しむ機会をつくり、子どもたちの読書に対する意欲や関心を高め、読書好きの子どもを育てること

を目的にセカンドブック事業を実施します。

小学校に入学する市内に在住している子どもを対象とし、各自がセカンドブックリストから選んだ本を1冊、小学校入学式で贈呈します。

▽スポーツふれあい交流事業 注目

399万円

（教育委員会スポーツ振興課）

スポーツふれあい交流事業（3ライズ事業）は、sunrise（夜明け）とともに、raise child（子どもを育てる）、raise ones sights（望みを高くする）、raise a cry of triumph（勝利の叫び声を上げ



昨年のスポーツ教室

る）の意を持ち、スポーツを通じて子育て支援・青少年の健全育成を目指した事業の総称です。本年度新たに次の2つの事業を行います。

- ① 夢教室事業（ユメセン）では、日本サッカー協会との共催事業で実施します。市内小学5年生全員を対象とし、日本の各競技のトップアスリートが講師となり、子ども達の将来の夢や目標を考える機会を作ります。
- ② 岡山シーガルズコーチングキャラバン事業では岡山シーガ

▽定住促進住宅建築費等助成金交付事業

1500万円

（市民生活部市民課）

本市人口の増加と地域経済の活性化を図るため、市内において住宅を新築する人、中古住宅を購入し改修する人、また住宅用地を購入する人に、予算の範囲内において、定住促進住宅建設費等助成金を交付します。平成23年度からは一定の要件を満たした三世代住宅には助成金の加算を行う予定です。

▽住宅用火災警報器設置促進事業

200万円

（消防本部警防課）

安心安全なまちづくりを推進するため、連動型・外部通報機能型の住宅用火災警報器を購入する場合、購入金額の50%を助成します。三世代同居世帯は助成率を優遇する予定です。

2. 「ゆ・ら・ら」を活用した健康増進施策

市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」を有効に活用し、市民の健康づくりを積極的に進めます。

▽健康づくりプログラム

事業

新規 1300万円

(市民生活部健康づくり課)

生活習慣病のひとつである糖尿病の本市国民健康保険における受療率は、全国と同様に年々増加してきています。

このため、特定健診の結果等においても「糖尿病予備軍」や、悪玉コレステロールや中性脂肪が高い「脂質異常」のある人が増加しています。さらに、介護保険の認定を新規に受けている



朝ごはんセミナー

高齢者の原因疾患は「筋骨格系および結合組織の疾患」が多く、腰痛、膝痛関節疾患も多くなっています。

このような状況から、若い世代から高齢者までの世代の生活習慣の改善、運動の継続的な実践等を支援するため、「ゆ・ら・ら」を活用した積極的な市民の健康づくりを進めます。

▽食育推進事業

新規

80万円

(市民生活部健康づくり課)

生活環境の変化に伴い高血圧やメタボリックシンドローム等の生活習慣病が問題になっており、健全な心身と豊かな人間性の育成のため、食育推進が重要な課題となっています。

その課題解決に向け、幅広い年代を対象とし、さまざまな体験を通じた事業を行うとともに、特に子ども達が早寝・早起き等の生活習慣を整え、豊かな食生

活を送れるよう指導することが大切です。

食育に携わる関係部署との連携を図る体制強化と幼児、児童、生徒に重点をおいた食育推進事業を実施します。

▽高齢者・障害者健康づくり推進事業(70歳以上の市民・障害者ゆ・ら・ら入館助成)

213万円

(市民生活部福祉課)

高齢者・障害者の健康増進と交流を図ることを目的として、入館料を助成します。

▽青少年スポーツ少年団育成支援事業(ゆ・ら・ら入館助成)

538万円

(教育委員会社会教育課)

市少年団連絡協議会加盟の少年団・高梁市スポーツ少年団本部登録の少年団が団活動として施設を利用する際の入館基本料を助成します(1回の利用で指導者は2人まで助成します。年間2回まで利用可)。

▽ゆ・ら・ら総合検診事業

新規

45万円

(市民生活部保険課・健康づくり課)

「自分の健康は自分でつくる」を目指して特定健康診査と各種がん検診の受診を市民に呼びかけていますが、検診の受診率が低迷しており、特に若い世代の受診率が伸び悩んでいます。平成23年度は「ゆ・ら・ら」を会場とし、市で実施している特定健診および全ての各種がん検診を1日で受診できるように、総合健診を実施します。併せて、食の大切さ、運動の必要性を体験でき理解を深める機会を作ります。



朝霧温泉「ゆ・ら・ら」

3. 環境福祉施策

環境保全に関する共通認識のもと、環境行政を推進し、市民の主体的な環境にやさしい行動を誘発するとともに、環境、福祉、農業を通じた地域活動の促進により農福連携の仕組みづくりに取り組みます。

▽農福連携障害者就労支援モデル事業

新規 40万円
(市民生活部福祉課)

障害者の就労先として農業に着目し、農業分野での障害者就労の取り組みに向けて、障害者が農業の技術や知識、経験を積むことができるとともに、地域社会や農業関係者の理解を深めていくことができるよう、農福連携の仕組みづくりや地域交流をベースとした地域生活支援体制のあり方等についてモデル事業を実施します。

▽資源循環型社会推進事業

新規 87万円
(市民生活部環境課)

ごみの減量化、地球温暖化の原因となる二酸化炭素削減など環境面から資源を再利用、有効活用する取り組みが進んでいま

す。

本事業では、生ごみも資源であるという発想に立ち、生ごみを堆肥化して土に戻す取り組みを行い、ごみ減量化、再資源化など循環型社会の推進を図ります。

本事業を進めるには、市民の皆さんの理解と協力が不可欠であり、生ごみのたい肥化に試験的に取り組んでいたたくグループや地域などを募り、モデル事業を実施します。

具体的には、生ごみたい肥化に関する講習会の開催や、参加



LED 防犯灯

団体間の連絡・情報交換会の開催、更に参加団体へ生ごみたい肥化器材や花の種等を支給し、参加団体の取り組みを支援します。

▽防犯推進事業

新規 200万円
(市民生活部市民課)

道路等を明るくし交通事故や犯罪の未然防止を図っていくことで、市民が安心・安全でより快適に暮らすことのできる生活環境の実現を図るため、LED防犯灯への転換を促進します。

環境負荷が少ない省エネルギー・省資源化を図り、環境にやさしいまちづくりを推進するため、町内会等が設置し維持管理する防犯灯について、経費負担の軽減を図れ、環境に優しいLED（発光ダイオード）防犯灯設置経費の一部助成を行います。

▽太陽光パネル設置費助成事業

見直し 1000万円
(市民生活部環境課)

本市における地球温暖化対策および省エネ・新エネ対策等低



太陽光パネルを設置した建物

炭素社会の実現、および関係市内業者の経済対策を目的として、住宅用太陽光発電システム設置に関する国または県の補助制度の対象となる人のうち、システム購入に係る契約を市内事業者と締結した人に対し、システム設置費用の一部を助成します。

▽環のまちづくり推進事業

新規 72万円
(市民生活部環境課)

本事業では、地域環境および地球環境等いわゆる環境問題について、啓発的事業を中心に、市民自らが参加でき、そして実践できる事業を実施します。



EV急速充電器

具体的には、①毎月の電気やガスの使用量などを家計簿のよ
うにチェックすることで、家庭
生活における二酸化炭素(CO₂)
排出量を算出する「環境家計簿
(たかはし)」へ取り組みます。
②市民の皆さんに、毎日のく
ら
しの中で省エネ行動にチャレン
ジしていただく「エコチャレン
ジ」事業を実施します。③家庭
ごみを削減する取り組みのひと
つとして、また市民一人ひとり
が自らの生活を環境にやさしい
エコ・ライフなスタイルへと見
直す「きつかけ」とするため、
レジ袋をもらわないノーレジ袋
運動(マイバッグ運動)を推進

します。④「環境フェア」につ
いて、他イベントと同時開催す
るなど、イベント内容の充実を
図ります。⑤「高梁市の環境を
考える会」など、市民等との連携・
協働により環境保全を図ります。

▽電気自動車充電施設運 営事業

新規

59万円

(市民生活部環境課)

「EV電気自動車観光の普及・
環境整備」として岡山県が整備
した電気自動車充電施設を運営
します。

▽里山林再生事業

新規

1500万円

(産業経済部農林課)

山里も年々手入れがされなく
なり荒廃が進み、森林の持つ機
能が低下するとともに、有害鳥
獣の温床となつてきています。

このため、自然環境機能の維
持・増進を図るため「山里守り隊」
を結成し、道路沿いの山林の手
入れ作業を行います。

公募により天然林の整備地域
を決め、所有者の一部負担によ
り天然林の整備を行います。

4. 歴史的風致維持向上計画実施事業

高梁市歴史的風致維持向上計画に基づく歴史的町並みの保存や景観
の整備、伝統文化の伝承等を行い、高梁市の持つ魅力を高める事業に
取り組めます。

▽町並み保存整備事業

900万円

(総務部歴史まちづくり課)

城下町の面影を多く残す本町
地区において、平成10年度から
平成22年度まで36件の町家の保
存・修景(周辺景観に調和した
整備)整備への助成を行いました。
史的町並みを維持してきました。

平成19年度からは整備対象範
囲を石火矢町、中之町、紺屋川
筋まで広げ取り組んでいます。

高梁市歴史的風致維持向上計画
では、引き続き中心的事業と
して位置付け、対象地区内の建
造物の保存修理または修景等に
対して助成を行います。

▽吹屋伝建家屋保存事業

3071万円

(教育委員会社会教育課)

吹屋の町並みは、昭和52年に
国の重要伝統的建造物群保存地
区に選定されました。その後は



吹屋の町並み

計画的に、地区内の家屋、工
物等の保存のため、修理、修景
整備を毎年実施しています。

また、今年度から平成24年度
までの2カ年で、伝統的建造物
群と一体をなす環境の保存状況
に関する調査およびこれらに基
づく保存対策のため、高梁市伝
統的建造物群保存地区の保存対
策調査(見直し)を実施します。

▽旧備中松山藩御茶屋整備事業

2671万円

(総務部歴史まちづくり課)

当御茶屋は、旧松山藩主別邸の一棟と考えられており、全国的にも珍しい藩政時代の御茶屋で、山田方谷が城下滞在時に使用し、河井継之助が滞在したともいわれる施設としても知られ、歴史的な価値が高い建物です。

このため、老朽化した御茶屋の建物を含めた敷地全体の歴史的環境の修復整備を行い、本市の歴史を検証する場として公開するとともに、人々の交流の場としての活用を図ります。

▽松山城登城道看板整備事業

200万円

新規

(産業経済部商工観光課)

国指定重要文化財の備中松山城は臥牛山山頂にあり、現存する山城としては国内で最も高い位置にあり、戦国時代には一大要塞としても活躍してきました。今なお多くの観光客が訪れる名勝です。備中松山城の城下町として江戸時代前期から整備さ



渡り拍子 (左) と備中神楽

▽備中神楽・渡り拍子保存伝承活動事業

429万円

(教育委員会社会教育課)

れた町並みは今もなお色濃く残っているため、小路が多く、その路沿いには歴史的建造物も多いことから、道路の拡幅は難しく、看板を設置し、より分かりやすい観光案内に努めます。

国指定重要無形民俗文化財である備中神楽、市指定無形民俗文化財である渡り拍子の保存伝承活動は、高梁市歴史的風致維持向上計画にも盛り込まれており、伝統文化の保存伝承を担う団体活動の継続、後継者の育成

を行う団体の活動を支援します。

▽景観計画策定事業

254万円

新規

(総務部歴史まちづくり課)

高梁の城下町、吹屋の伝統的建造物群保存地区を中心とする市全域を対象とした景観計画の策定を行います。

▽郷土資料館保存修理事業

246万円

新規

(教育委員会社会教育課)

市重要文化財の郷土資料館は、明治37年に旧高梁尋常高等小学校本館として建てられました。数々の修理を経て、今日に至っていますが、雨漏り、建具の変形、外壁ペンキの剥がれなど至るところに傷みが生じているため、保存修理を行い、貴重な文化財を後世に残していきます。

▽歴史的建造物整備事業 (守内邸)

708万円

新規

(総務部歴史まちづくり課)

本町の歴史的町並み保存地区の中心に位置する守内邸は、昭

和初期の伝統的町家で、住宅兼店舗でしたが、十数年前から空き家となっています。

歴史的風致形成建造物の指定を行い、町家再生のモデル事業として整備を行い、情報発信や交流機能を持ち、公衆用トイレを併設したまちづくり館として活用を図ります。

▽観光物産館整備事業

1607万円

新規

(総務部歴史まちづくり課)

高梁市歴史的風致維持向上計画の事業効果を促進するため、歴史的町並み保存地区の中心に位置する観光物産館「紺屋川」の2階部分を休憩施設や映画ロケ等の展示施設として整備します。



郷土資料館

総合計画の5つの基本 方針に基づく主要事業

1. 地域産業・地域資源を

活かした活力あるまち

2. 美しい自然環境と快適な

生活基盤が調和した共生のまち

▽農業振興拠点推進事業

新規 604万円

(産業経済部農林課)

本市の農業振興を図るため、旧県立高梁城南高校川上校地跡地において、アグリテクノ矢崎(株)へ「農作物の栽培等に係る研究・開発および栽培試験」「農業機械等の研究および実証試験」「新規就農者等、担い手の確保・育成」等について事業委託を行

い、農業振興拠点を整備します。

▽ボンネットバス活用事業

新規

1010万円

(産業経済部商工観光課)

ボンネットバス(レトロバス)を導入し、既存の観光資源等と合わせて市主催のイベント等で利活用し、観光事業の推進・交流事業の増加を図ります。

を行う場合、奨励金を交付します。

▽分別収集等ごみ減量化推進事業

新規

569万円

(市民生活部環境課)

ごみの減量化を進めるため、市内ごみステーションの巡回指導、ごみ減量化推進委員の配置、ごみ分別啓発、生ごみ処理機購入助成を行います。

▽小型動力ポンプ積載車整備事業

新規

2022万円

(消防本部消防総務課)

消防団活動の充実を図るため、老朽化した小型動力ポンプ積載



ボンネットバス

▽ハッピーウェディング奨励事業

500万円

(産業経済部商工観光課)

結婚の推進、地域経済の発展および市内定住の促進を図るため、市内で結婚式または披露宴

▽交通安全施設整備事業

401万円

(市民生活部市民課)

歩行者・車両ともに、より安全に通行できるように、カーブミラーの設置を行います。



ごみの分別指導

車等を更新します。

▽備中高梁駅周辺地域整備事業

4742万円

(総務部企画課)

備中高梁駅周辺整備基本計画策定（駅のバリアフリー化、交通の利便性、安全性の確保〔駅西ロータリー広場整備〕）に向けての調査・研究を行います。

▽道路新設改良事業

7億9914万円

(産業経済部建設課・各地域局)

市道の改良舗装整備を積極的に行います。

▽都市計画道路整備事業

2億2911万円

(産業経済部都市整備課)

昨年度に引き続き都市計画道路路南町近似線、高梁駅松連寺線の改良整備を行います。

▽水道施設整備事業

2億8207万円

(産業経済部上下水道課・各地域局)

子どもから高齢者まで市民が安心して飲用できる良質な水を

提供するため、水道施設の整備更新を計画的に行います。

▽下水道施設整備事業

8880万円

(産業経済部上下水道課)

生活環境向上のため、下水処理場、雨水ポンプ場等の施設整備工事を行います。

▽生活交通路線等維持事業

8975万円

(市民生活部市民課)

市民生活に必要不可欠である地域交通手段を維持するため、バス会社の過疎バス路線運行経費に対する補助を行います。また、生活福祉バスの運行を行います。

▽交通体系再編事業

2249万円

(市民生活部市民課)

旅客運送の確保と利便性の向上を図り、地域の実情に即した新たな交通体系の確立を目指すため、地域公共交通総合連携計画に基づき実証運行を行います。

3. 心のつながりを大切に 支えあい助けあう安心のまち

▽子ども医療費支給事業

1億1916万円

(市民生活部子ども課)

経済的負担から受診を抑制することを防止するなど、疾病の早期発見や、必要な医療を継続的に受診することにより、重症化を防ぐとともに、子どもを持つ家庭の経済的負担を軽減するため、0歳から18歳（18歳に達した年度末）までの医療費の自己負担分を原則無料となるよう助成します。

▽各種がん検診事業

3748万円

(市民生活部健康づくり課)

がんの早期発見、早期治療のため、節目の年には、市民のがん検診自己負担額の無料化を行います。

▽感染症予防接種事業

9209万円

(市民生活部健康づくり課)

感染症予防のため、従来のイ

ンフルエンザ予防接種に加え、子宮頸がんワクチン予防接種・ヒブワクチン予防接種・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種を行います。

▽成羽病院改築事業

16億7343万円

(成羽病院)

平成24年9月完成に向けて、成羽病院の改築を行います。



成羽病院完成予想図

4. 地域文化と心豊かな

人を育むまち

業

▽学園文化都市づくり事業

1億665万円
(総務部企画課)

順正学園、学園文化都市づくり協議会をはじめとする関係機関との連携・協力により全国から学生の集まる魅力ある大学がある町として、まちづくりを推進するため、産学官連携推進事業、リカレント事業、私立学校入学奨励金支給などを行います。

▽特別支援教育推進事業

2007万円
(教育委員会学校教育課)

学校園において、特別支援学級に在籍する障害児への支援と、通常学級に在籍する支援が必要な幼児児童生徒に適切な教育を行うため、特別支援教育支援員を配置します。校園長の指導のもと、学校園生活のサポートをすることで特別支援教育の充実を図ります(配置予定18人)。



特別支援教室の様子

▽小1グットスタート支援事業

32万円
(教育委員会学校教育課)

新たに学校生活が始まる小学1年生への支援として、30人以上の児童がいる学級を対象に特別非常勤講師を配置します。

▽中学校施設改修事業

1287万円
(教育委員会学校教育課)

学校施設は、生徒が一日の大

半を過ごす活動の場であるとともに災害時の緊急避難場所としての役割を果たすことから、安全性の確保は極めて重要です。耐震化を図るため、成羽中学校体育館の耐震実施設計を行います。

▽幼稚園園庭芝生化事業

185万円
(教育委員会学校教育課)

園庭の芝生化により、外で遊ぶ機会が増え運動が好きな子どもへの育成に役立つとともに、健康増進を図られ、維持管理において地域団体と連携することで、特色ある幼稚園づくりやより地域に開かれた幼稚園づくりにも役立つことが期待されます。平成23年度は、津川幼稚園において、園庭の一部芝生化を実施します。

▽学校給食センター施設整備事業

1億8908万円
(教育委員会学校教育課)

平成24年4月に給食センターの再編を予定しており、高梁および有漢学校給食センターの機

能向上を図るため、施設・設備の整備を行います。

▽市民プール改築事業

1500万円
(教育委員会スポーツ振興課)

安全性の向上、環境負荷の低減により、市民が利用しやすい魅力あるプールにするため、平成22年度に策定した「長寿命化計画」に基づき改築・修繕を行います。平成23年度は築後35年を超え、老朽化の著しい高梁市民プール(50mプール)の改築設計を行います。



高梁市民プール

▽ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁大会開催

新規 220万円

(教育委員会スポーツ振興課)

健康志向やエコに対する意識の高揚から、世界的に自転車がブームとなっており、欧米では自転車が地域のスポーツや文化として、生活スタイルの中に深く浸透しています。現在、日本サイクリング協会が把握している日本の自転車愛好者人口は約258万人で、年々大幅に増加しており、地域づくりやまちづくりの観点から、全国的に自転車競技大会が脚光を浴びつつあります。

このような状況の中、本市において広域的なスポーツ交流を進めるため、自転車競技大会を開催します。



昨年の乗鞍大会(長野県松本市)



読み聞かせの様子

▽図書読み聞かせ推進事業

新規 38万円

(教育委員会高梁中央図書館)

幼少のころより読書に慣れ親しみ、おもしろさを体感してもらうため、読み聞かせボランティアを養成するとともに、読み聞かせ事業を行います。

▽学校支援地域本部事業

新規 111万円

(教育委員会社会教育課)

公民館を拠点に地域コーディネーターを配し、地域ボランティアによる学校支援を行い地域の教育力向上を図ります。

5. 市民と行政の協働と連携で

自立するまち

▽高梁ふるさとづくり功労表彰事業

新規 34万円

(総務部企画課)

地域の個性や特性を生かし、魅力あふれるふるさとづくりを意識的に取り組んでいる個人、団体、企業を選定し、その功績を称えることにより、ふるさとづくりに対する意識の高揚を図るとともに、市民が愛するふるさと高梁のまちづくりを推進するため、高梁ふるさとづくり功労表彰を実施します。

▽国際交流・友好都市交流事業

485万円

(総務部企画課)

国際姉妹都市であるアメリカ合衆国トロイ市への中学生の派遣、日独青少年交流、留学生との交流を実施します。

また、友好都市熊本県山鹿市、高知県四万十町との交流事業も実施します。



昨年のトロイ市訪問団

▽新庁舎等建設推進事業

2000万円

(総務部企画課)

新庁舎等建設基本構想(案)を作成し、市民の皆さん、市議会との意見交換・調整を行い、基本計画策定に向けての調査・研究を行います。

■問い合わせ 総務課財政係(☎0206)